平成29年度 自動走行実証推進事業への応募申請書

市町村名		小牧市
連絡先	部署名	都市建設部 都市政策課 交通政策係
	担当者役職·氏名	主査 金子 清一朗
	電話番号	0568-76-1138
	FAX番号	0568-71-1481
	メールアドレス	toshi@city.komaki.lg.jp

〇 本事業への応募理由

テーマ:地域特性に応じた地域拠点へのアクセス利便性確保

(1) 実証地域 (ルート) において、自動走行システムを活用することにより、解決すべき行政課題。

小牧市では、平成27・28年度の2か年にわたりこまき巡回バスの再編を実施し、市内全域において、各居住地から半径500m以内にバス停が設置(民間路線バスのバス停含む)され、1時間に1本程度の運行を開始しました。一方、この再編により、こまき巡回バスの運行に係る市負担金は、平成28年度に約3億3,400万円を見込むなど、再編前と比べ増大している状況であり、現行の公共交通サービスをこのまま維持していく場合には、将来にわたって多額の資金を投入していく必要があります。

また、今後は、高齢化の進展に伴い、平成52年には、平成22年時点と比較し、 桃花台の一部の地区において、高齢者密度が30人/ha以上増加することが予測され ています。なお、桃花台地区は、周辺の地区と比べ、計画的な道路整備が進んでおり、 安全に通行することが可能でありますが、歩車分離とするため立体交差となっている 箇所が多く、坂や階段も多いという地域特性を有しているため、今後も引き続き、き め細かな公共交通サービスを維持していく必要があります。

従って、現行の公共交通サービスの維持と、運行コストの削減を両立しつつ、地域

の特性に応じ、地域拠点である桃花台センター地区へのアクセス利便性の向上を図る ため、人件費の削減などにより運行コストを削減できる可能性のある無人運転を導入 し、現在ハイエースにて運行しているこまき巡回バスの既存路線の代替手段となりう るか、検討を行う必要があります。

(2) 実証実験の成果を活用し、当該行政課題を解決するための自らの施策展開の方向性等が明確なこと。

小牧市では、平成28・29年度の2か年をかけて、小牧市地域公共交通網形成計画を策定しており、その中で、地域の特性に応じ、地域拠点へのアクセス利便性の向上を図ることと、路線機能や利用特性に応じた交通サービスの提供の妥当性を検証することを、基本方針の中に掲げる予定であります。今回の実証実験は、現在策定中である小牧市地域公共交通網形成計画に基づき、こまき巡回バスの既存路線のうち、地域拠点へのアクセス利便性向上に資する路線を自動運転により運行し、当該運行に係る問題点を抽出するとともに、併せて運行コスト削減の可能性を検討するものです。

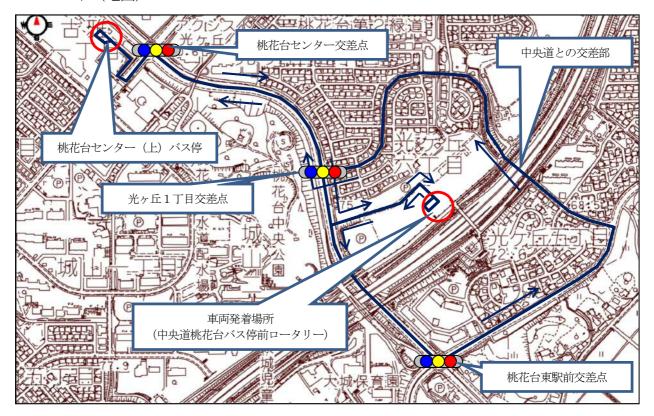
〇 実証実験実施場所、ルートの詳細

1 ルート (起点→終点)

中央道桃花台バス停前ロータリー →桃花台東駅前交差点→光ヶ丘1丁目交差点

- →桃花台センター交差点→ 桃花台センター (上) バス停→桃花台センター交差点
- →光ヶ丘1丁目交差点 → 中央道桃花台バス停前ロータリー

2 ルート (地図)



3 地理条件

- ・こまき巡回バス「59中央道桃花台コース」(1日13循環)と全ルートにわたり重複している。
- ・丘陵地であるため勾配がある。また桃花台センター周辺は交通量が多い。
- ・県道195号線(荒井大草線)から中央道桃花台バス停への乗り入れ部に段差がある。

4 道路条件

項目名	内容
路線距離	一循環約3. 7キロ
車線数	片側1車線または2車線(一部中央分離帯あり)
ンチロケナボンヤ	歩車分離(中央道桃花台バス停乗り入れ部付近を除く)となって
道路構造	いるが、勾配がある。
、 大山 存在山口	県道195号線(荒井大草線)、市道篠岡一丁目1号線、市道光ヶ
道路種別	丘五丁目1号線、市道桃花台鳥居松線、市道古雅一丁目2号線。
التالحال د محر د	トンネル、踏切はないが、中央道のガード下を走行する必要があ
トンネル、踏切	る。

交诵量	市道桃花台鳥居松線を除き交通量は少なく、普段渋滞は発生しな
入心里	V,
交差点	右左折する四差路3か所、丁字路8か所。
+7 - 44 -	起終点:中央道桃花台バス停前ロータリー
起点・終点	(駐停車場所、モニター調査実施場所の確保可能)
その他特記事項	無し

5 写真

- (1) 道路の様子(主要地点数カ所)
 - ・県道195号線(荒井大草線)から中央道桃花台バス停への乗り入れ部



• 桃花台東駅前交差点



・光ヶ丘1丁目交差点



・桃花台センター交差点



・中央道との交差部



・桃花台センター(上)バス停



(2) 起点、終点場所(駅、公共施設等)





6 高精度3Dマップの有無

有(平成29年度整備予定の場合は、時期を明記してください。また、「有」の場合は、 そのルートも記載してください。)



7 貴自治体における自動走行に関連した独自の取組 特にありません。

平成29年度 自動走行実証推進事業への応募申請書

市町村名		小牧市
連絡先	部署名	都市建設部 都市政策課
	担当者役職·氏名	主査 金子 清一朗
	電話番号	0568-76-1138
	FAX番号	0568-71-1481
	メールアドレス	toshi@city.komaki.lg.jp

〇 本事業への応募理由

テーマ:地域特性に応じた地域拠点へのアクセス利便性確保

(1) 実証地域 (ルート) において、自動走行システムを活用することにより、解決すべき行政課題。

小牧市では、平成27・28年度の2か年にわたりこまき巡回バスの再編を実施し、市内全域において、各居住地から半径500m以内にバス停が設置(民間路線バスのバス停含む)され、1時間に1本程度の運行を開始しました。一方、この再編により、こまき巡回バスの運行に係る市負担金は、平成28年度に約3億3,400万円を見込むなど、再編前と比べ増大している状況であり、現行の公共交通サービスをこのまま維持していく場合には、将来にわたって多額の資金を投入していく必要があります。

また、今後は、高齢化の進展に伴い、平成52年には、平成22年時点と比較し、 桃花台の一部の地区において、高齢者密度が30人/ha以上増加することが予測され ています。なお、桃花台地区は、周辺の地区と比べ、計画的な道路整備が進んでおり、 安全に通行することが可能でありますが、歩車分離とするため立体交差となっている 箇所が多く、坂や階段も多いという地域特性を有しているため、今後も引き続き、き め細かな公共交通サービスを維持していく必要があります。

従って、現行の公共交通サービスの維持と、運行コストの削減を両立しつつ、地域

の特性に応じ、地域拠点である桃花台センター地区へのアクセス利便性の向上を図る ため、人件費の削減などにより運行コストを削減できる可能性のある無人運転を導入 し、現在ハイエースにて運行しているこまき巡回バスの既存路線の代替手段となりう るか、検討を行う必要があります。

(2) 実証実験の成果を活用し、当該行政課題を解決するための自らの施策展開の方向性等が明確なこと。

小牧市では、平成28・29年度の2か年をかけて、小牧市地域公共交通網形成計画を策定しており、その中で、地域の特性に応じ、地域拠点へのアクセス利便性の向上を図ることと、路線機能や利用特性に応じた交通サービスの提供の妥当性を検証することを、基本方針の中に掲げる予定であります。今回の実証実験は、現在策定中である小牧市地域公共交通網形成計画に基づき、こまき巡回バスの既存路線を念頭に、地域拠点へのアクセス利便性向上に資するルートを設定して自動運転により運行し、当該運行に係る問題点を抽出するとともに、併せて運行コスト削減の可能性を検討するものです。

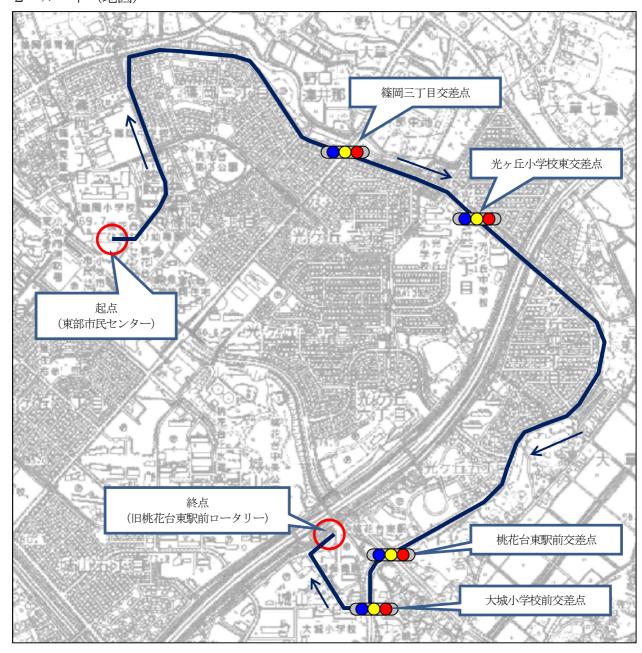
○ 実証実験実施場所、ルートの詳細

1 ルート (起点→終点)

東部市民センター→篠岡三丁目交差点→光ヶ丘小学校東交差点

→桃花台東駅前交差点→大城小学校前交差点→旧桃花台東駅前ロータリー

2 ルート (地図)



3 地理条件

- ・ルートの一部をこまき巡回バス、ピーチバス、名鉄バスが走行している。
- ・丘陵地であるため勾配がある。

4 道路条件

項目名	内容
路線距離	片道3. 7キロ
士公白米亿	片側1車線(桃花台東駅前交差点から大城小学校前交差点までは
車線数	片側2車線で中央分離帯あり)
道路構造	歩車分離となっているが、勾配がある。
、关10/4 壬 口(1	市道篠岡二丁目1号線、市道篠岡一丁目1号線、市道西洞線、市
道路種別	道城山三丁目2号線、市道城三丁目11号線。
トンネル、踏切	ともに無し
交通量	交通量は全体的に少なく、普段渋滞は発生しない。
交差点	右左折する丁字路2か所
	起点:東部市民センター
起点・終点	終点:旧桃花台東駅前ロータリー
	(駐停車場所、モニター調査実施場所の確保可能)
7. のかせき1 東西	近隣の小中学校がルートに隣接しており、児童・生徒の登下校ル
その他特記事項	ートとなっている。

5 写真

- (1) 道路の様子(主要地点数カ所)
 - ・市道への乗り入れ部(東部市民センター)



• 篠岡三丁目交差点



• 桃花台東駅前交差点



• 大城小学校前交差点



(2) 起点、終点場所(駅、公共施設等)

・起点:東部市民センター



・終点:旧桃花台東駅前ロータリー



6 高精度3Dマップの有無

有(平成29年度整備予定の場合は、時期を明記してください。また、「有」の場合は、 そのルートも記載してください。)



7 貴自治体における自動走行に関連した独自の取組 特にありません。